

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれます。

監督:呉美保 主演:吉沢亮 脚本:港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三 長井恵里

原作:五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース:山国秀幸

製作:「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーガストリー/博報堂DYミュージック&ビジュアルサービス/ギャガ/JR西日本コミュニケーションズ/アイビー・アイ/アイエヌ/河北新報社/東日本放送/ネットテレビ)

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給:ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★
GENDA GROUP

＊コードがきこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

く、心に響く映画が誕生した。

して活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちてい

いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優と

港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行

き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出して

品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作

家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の

親子の物語が、そしてひとりのコードの心の軌跡が、点描の

ように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

としては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが・・・。



映画

「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 上映会

令和8年

4月25日土

① 10:30

② 13:30

③ 16:00

新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール (JR上野駅より徒歩10分)

入場料金

【前売券】一般・大学生 1,200円

【当日券】一般 1,500円 大学生 1,300円 小中高生 800円

■ セブンチケット(セブンコード113-602)
プレイガイド ■ インフォメーションセンターえん(日報メディアシップ1F)
■ 前売券のお申し込みはこちらからもできます。(右記LINE▶)



当日は、会場で簡単な聴力検査も受けられます。



問い合わせ先

BSN新潟放送エリアプロデュース部

TEL: 025-247-0900

E-mail: jigyo@bsn-niigata.co.jp

(〒951-8655 新潟市中央区川岸町3-18)

【主催】新潟県リハビリテーション専門職協議会

【後援】新潟県 新潟県教育委員会 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 新潟市

新潟市教育委員会 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 一般社団法人新潟県言語聴覚士会

公益社団法人新潟県作業療法士会 公益社団法人新潟県理学療法士会 新潟県理学療法士連盟

【協力】BSN新潟放送